

令和5年度佐賀市文化振興基本計画推進懇話会
会議録

開催日	令和6年2月13日(火)	
開催時間	14時00分から16時00分まで	
出席者	委員	高島会長、金子副会長、西原委員、白木委員、富吉委員、宮崎委員、鶴田委員
	事務局	筒井地域振興部長、大野地域振興副部長 歴史・文化課：小林課長、武藤副課長、野田副課長、小副川主査、常富主事 文化財課：北島課長、角参事、北村副課長、松本係長、古川主査
議事	1. 第3次文化振興基本計画の重点事業について (1) 令和5年度 主要事業の進捗について (2) 令和6年度 主要事業の計画について 2. 文化振興基本計画の数値目標について	
欠席委員	なし	
傍聴者	なし	
報道関係者	なし	

◎会議録【会議の公開・非公開】

○会長

本日の懇話会は佐賀市審議会等の会議の公開に関する規程によって、公開としたいと思うが、いかがか。

○委員

(異議なし)

◎議事 令和5年度主要事業の進捗と令和6年度の主要事業の計画について

○事務局

資料説明(略)

○会長

令和5年度主要事業の進捗と令和6年度以降の主要事業の計画について事務局から説明があった。ご質問やご意見等はないか。

○委員

東名遺跡のガイダンス施設は遺跡に関わらないイベントにも開放するのか。また、そのような要望が地元から出てきているのか。

○事務局

遺跡に関わるイベント等が優先だが、地域交流の場としても活用してほしいと考えている。

○委員

運営の仕方は直営と指定管理者どちらで考えているか。

○事務局

まだ検討中であるが、おそらく直営となるだろう。

○委員（会長）

東名遺跡の出土品について、重要文化財としての指定の話はないか。

○事務局

重要文化財の指定については文化庁と協議を進めており、現在は詰め段階まで来ている。主に編みかごと装飾の骨角器を中心に指定される予定。

○委員（会長）

重要文化財の指定を受けるにあたって、保存施設の条件のようなものが出されていると思うが、その条件に適した保存施設であるか。

○事務局

条件に適した保存施設として進めている。

○委員

収蔵庫は東名遺跡に関わる出土品だけでなく、文化財資料館に収蔵している遺物も移すのか。また、展示もするのか。

○事務局

文化財資料館に収蔵している遺物も移し、展示する予定。重要な遺物は本館の収蔵庫に移し、収納できない分は、本館外収蔵庫に収納する予定。

○委員（会長）

最近、収蔵庫自身も見せる展示対象となってきているが、何か考えているか。

○事務局

バックヤードツアー等のイベントを設けて、機会をつくる予定。

○委員

入館料は徴収するか。

○事務局

入館料についてはまだ検討していないが、地域の方に収入を得る機会や場所として活用できる場としたい。

○委員

来場者は県外からも見込めるか。

○事務局

県外だけでなく海外からも来場いただけるようにしたいが、公共交通機関があまり整備されていないため、環境整備も同時にすすめていく必要があると考えている。

○委員

旅行の時にSNSで知って訪ねる人が多いので、情報発信の仕方が大事になる。

○事務局

地元の人の中にも知らない人がいるので、掘り起こしが必要だと思う。そのうえで、ガイダンスやボランティアガイドなどで協力していただきたい。

○委員

アウトリーチ・インリーチ事業の実施校が偏っているように見受けられるが、選定はどのように行っているのか。

○委員

校長会等で説明をして、後日希望をとっている。

○委員

年間スケジュールは12月頃に決まるため、早めに説明する必要がある。教育長からも勧めてほしい。

○委員

こういう内容はぜひ広く説明し、実施してほしい。

○事務局

令和6年度のアウトリーチ事業は2月の校長会で説明し、募集を募るようにしているが、すでにカリキュラムが決まっていることも多い。令和7年度以降は財団と調整して、もっと早めに校長会等で説明できるようにしたい。応募がない場合はこちらからお願いをするが、お願いする際には過去に実績がない学校を中心にあたっている。

○委員

精煉方の時代の遺構が発見されたのか。

○事務局

同じ場所に複数の時代の遺跡が混在しているため、精煉方の時代の遺構なのか慎重に検討を続ける。

◎議事 文化振興基本計画の数値目標について

○事務局

資料説明（略）

○会長

成果指標について事務局から説明があった。ご質問やご意見等はないか。

○委員

SAGAアリーナが昨年5月に開業したことによって、文化会館への影響はあったか。

○委員

アリーナは基本的にスポーツ観戦を目的とした施設なので、文化会館のイベント、

集客などへの影響は感じない。施設の目的が違うことによりすみ分けができています。

○委員（会長）

大規模な学会や企業の集会など、将来的にはアリーナでの開催を望んでいる団体もあると聞く。文化会館としても、そういった機会に人を呼び込む努力をしてもいいのではないか。

○委員

市民レベルで、自分たちの文化活動として活動されている人たちの数が減っていることを心配している。

○委員

一時期は会員数がとても多かった文化団体も、高齢化が進み、後継者不足により解散を余儀なくされている。アリーナや文化会館など大きな施設を使って文化財や伝統芸能の事業を続けていくことが、今後ますます難しくなっていくだろう。

○委員

伝承芸能祭やミュージカルがアリーナで開催されたが、今後はアリーナと文化会館の使い分け、すみ分けが進んでいくと思う。

◎議事 その他について

○会長

事務局から何か案件はないか。

○事務局

本年の3月末をもって委員の任期が終了となる。これまでのご協力に感謝申し上げます。

（終了）